

※達成状況 ○:R2年度の達成状況が100%以上 ○:R2年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R2年度の達成状況が50%未満

基本目標	数値目標	基準値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)	
				実績値							
支え定 る人 材を 育つ てつ くり す、	従業者数 (事業所単位)(人) (出典=RESAS)	54,618 (H28年)	→					55,000 (R4年)			
	一人あたりの市民所得(年間・千円) (出典=栃木県市町村民経済計算(栃木県統計課調べ))	3,057千円 (H28年度)	3,198千円 (H29年度)	→					3,30千円 (R3年度)		
	具体的施策	KPI(重要成果指標)	基準値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	目標値	目標値			
	地域での多様な働き方 やしごとづくりを応援する 体制の強化	創業件数 (単年・本社市内)(市民税課調べ)	96 (H30年度)	101	114	106	111	116	120	◎	112.9
	地域資源を活かした競 争力のある地域産業の 振興	製造品出荷額等 (千円・年間) (出典=RESAS)	3,875億3千円 (H29年)	3,914億円 (R元年)	4,162億8千円 (R元年)	3,953億1千円 (R2年)	3,992億7千円 (R3年)	4,032億6千円 (R4年)	4,072億9千円 (R5年)	◎	106.4
		資産投資総額 (千円・年間) (出典=工業統計調査)	226億6千円 (H28年)	230億2千円 (H29年)	152億6千円 (H29年)	233億9千円 (H30年)	237億6千円 (R元年)	241億4千円 (R2年)	245億3千円 (R3年)	○	66.3
都市型農業の推進と農 業の成長産業化	農業産出額(推計) (千円・年間) (出典=RESAS)	53億7千円 (H29)	54億2千円 (H30)	53億9千円 (H30)	54億7千円 (R1)	55億2千円 (R2)	55億7千円 (R3)	56億2千円 (R4)	○	99.4	
	農業生産関連事業の実施割合 (出典=RESAS)	19.53% (H27)		24.3%			23% (R2)	23% (R2)	◎	105.7	
高等学校・大学等にお ける地域で活躍する新 たな人材の育成	本事業に参加した生徒・学生数(人・単年)	-	20	42	40	60	80	100	◎	210.0	
懇談会 委員評価	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった		例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合						評価 委員数	1	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった		例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合							13	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった		例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合							1	
	<input type="checkbox"/> 地方創生に対して効果がなかった		例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、 もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合								
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で実施できない事業もあったが、創業件数・製造品出荷額・大学生等の事業参加で健闘して成果につなげている。 / ・コロナ禍の状況を考えれば、順調なスタートが切れている。</li> <li>・創業件数は評価できる。新たな人材の育成においても、最終的な目標達成に可能性を感じる。 / ・コワーキングスペース事業や若者の起業支援等は、さらに推進を強化してよいのではないかな。</li> <li>・製造品・農産品の実績が両方ともとてもいいので、成果が得られたと思う。 / ・資産投資総額についてはコロナの影響であると思われるので、継続して評価したい。</li> <li>・農業の担い手不足、超高齢化に対する対策が急務、具体的手法を考えねばと思慮。</li> <li>・高校生、大学生との連携事業について、学生の参加も得ていることもとても良いと思う。 / ・新たな人材の育成はとても重要なので、地域金融機関としても積極的に関与していきたい。</li> <li>・高校における地域で活躍する新たな人材の育成については、目標値を大きく超える実績値があったと思われる。</li> <li>・また、市から学校への情報提供(こんな取り組みを行う生徒を募集している等)がもっとあれば、協力したいという生徒はさらに増えると思われる。</li> <li>・特に「高等学校・大学等における地域で活躍する新たな人材の育成」の個別事業が低調のように感じます。</li> <li>・新たな人材の育成については、市内の学校と連携を強化し、将来の定住化につなげる必要がある。 / ・若者の意見を取り入れたまちづくりを進めてもらいたい。</li> <li>・高校生に郷土愛をもっていただき、佐野市について興味を持って頂くことがUターンにつながるのではないかな。</li> <li>・今回実績値として評価している数値は、コロナ禍以前のものが多く、令和2年度実績値は低下する可能性がある。数値が低下しないように施策を進めていただきたい。</li> <li>・KPIを達成するために予定された事業の進捗が芳しくなく、今後のKPIの達成が不安視されます。</li> <li>・実感が伴わないが、数字を見る限りは相当程度効果はあったとみられます。 / ・先を見るとどのような社会状況になるかはわからないが、確実に進めていただければと思います。</li> <li>・コロナ収束後、日常が戻ってきて、このまま佐野市に定住したいと思えるよう、支援する施策を行ってほしい。</li> </ul>										

※達成状況 ◎:R2年度の達成状況が100%以上 ○:R2年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R2年度の達成状況が50%未満

基本目標	数値目標	基準値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)	
				実績値							
新しい人の流れをつくる	社会動態の人口増減数(累計)(人) (出典=住民基本台帳のうち職権消除等を除く)	107		0				600 (R2年-6年度) (累計)			
	滞在人口(平日) (1日当たり平均)(人)(出典=RESAS)	98,956 (H30年)		98,585				100,000 (R5年)			
	滞在人口(休日) (1日当たり平均)(人)(出典=RESAS)	107,765 (H30年)		105,856				110,000 (R5年)			
	具体的施策	KPI(重要成果指標)	基準値	令和2年度 目標値	実績値	令和3年度 目標値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	最終年目標値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
	「住んでよし、訪れてよし」佐野市 シティプロモーション	さのまるツイッターフォロワー数	29,175 (H30年度末)	32,000	34,705	34,000	36,000	38,000	40,000	◎	108.5
		年間観光入込客数(千人)	8,741 (H30)	9,300	6,474	9,700	10,000	10,000	10,000	○	69.6
	UIJターンの促進	市外からの移住者数 (転入者へのアンケートで把握できた数)	525人 (H26-H30累計)	150(単年)	115	150(単年)	150(単年)	150(単年)	750 (R2-R6年累計)	○	76.7
		転入者数 (単年・外国人含む総数)	3,429 (H30年度)	3,491	3,443	3,554	3,619	3,684	3,800	○	98.6
	移住者受け入れ態勢の 整備	移住相談件数 (単年・件)	162件 (H30年度)	250	294	270	280	290	300	◎	117.6
		空き家バンク提供物件登録数(累計・件)	65件 (H30年度末)	95	112	125	155	185	215	◎	117.9
「関係人口」の創出・拡 充	ふるさと納税受付数(単年・市外のみ)	1,188 (H30度)	8,000	6,089	9,000	10,000	11,000	12,000	○	76.1	
	「佐藤さんの会」会員数 (累計・人)	-	3,000	2,605	5,000	7,000	9,000	10,000	○	86.8	
懇談会 委員評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合						評価 委員数		6
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合								
	□ 地方創生に効果があった		例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合								
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、 もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合								
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において佐野の魅力を最大限生かした仕掛けづくりは充分にできたのではないと思う。 / ・アフターコロナに向けた対策をしていかねばと思う。</li> <li>・KPIの達成には芳しくないものも多いが、空き家対策、さのまるブランド、佐藤の会など、特徴的な取組もあって、意欲的に取り組み成果につなげている。</li> <li>・魅力ある「住んでよし」「住みたい」街にするために、年齢別に「若い人」を中心に意見をいただく(アンケート)ことも方策の一つと考える。</li> <li>・Webを利用した活動を始めたことも事業施策の中に書かれているので、その拡大と成果に期待したい。 / ・新たな人の流れをつくるためにも、SNS等を活用した情報発信を強化されたい。</li> <li>・時代の流れが速いので、どこまで対応できるのか、柔軟性が求められると思う。 / ・コロナにより観光イベントの運営が難しい一面。</li> <li>・「新しい人の流れ」の促進に最も効果的である移住者を増やす取り組みに引き続き注力していただきたい。 / ・転入者には多少の補助金を出すのが良い。</li> <li>・転入者数、移住相談件数、空き家バンク提供物件登録件数はコロナ下において、将来への可能性があると思われる。</li> <li>・移住相談件数が増えているようだが、空き家のあっせんや補助することにより移住者を増やせばよい。</li> <li>・移住者の受け入れについては、自治会の受け入れ態勢が整っているかどうか重要ではないか。受け入れる側の町会にその意識がなければうまくいかない。</li> <li>・移住相談件数がKPIを大きく上回っているため、関係者の努力が成果に表れてきているのだと思います。</li> <li>・在住者にはもっと魅力を伝え、移住しないよう、情報発信してほしい。</li> <li>・ふるさと納税については、その物品が魅力的なものにする必要があると思う。 / ・佐野市に縁のない人にも知ってもらうには、使えるものは何でも使い、市の知名度を上げてほしい。</li> <li>・新しい人の流れについては、やはり学校との連携は不可欠であるので、お互いに情報を交換し、大きな流れをつくっていく必要性を感じている。</li> </ul>										

※達成状況 ◎:R2年度の達成状況が100%以上 ○:R2年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R2年度の達成状況が50%未満

基本目標	数値目標	基準値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)	
				実績値							
結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性が輝く地域社会をつくる	婚姻数(単年)	528 (H29年度)		449				540件 (R5年)			
	合計特殊出生率	1.38 (H29年)		1.33				1.64 (R5年)			
	具体的施策	KPI(重要成果指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
	結婚・妊娠・出産の支援	出生数(人) 外国人を含む総数	777 (H30年)	793	673	809	825	841	857 (R6年度)	○	84.9
		子育てを楽しみと感じる市民の割合(%)	95 (H30年度)	95	91.1	96	97	97	98	○	95.9
	安心して子育てができる環境づくり	子育てに負担や不安を感じている市民の割合(%)	65.9 (H30度)	64.0	75.9	63.0	62.0	61.0	60.0	○	84.3
		保育所待機児童数	5人 (H30度)	0	0	0	0	0	0	◎	100.0
	女性が活躍するまちづくり	女性の事業主(人) (個人・法人問わず) (出典:商工会議所調べ)	219 (H30年度)	220	246	225	230	240	270 (R6年度)	◎	111.8
		20-39歳の女性の転入者数(人) (単年・外国人含む総数) (出典:住民基本台帳)	862 (H30)	900	771	925	950	970	1,000	○	85.7
	懇談会 委員評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合						評価 委員数	
□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合									
□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合									
□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合									
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐野に住むと子育てしやすいと思う人を増やさなければならない。 / ・足利・栃木・小山より良い施策を立案して実行していくことが大事である。</li> <li>・この項目は人口増加にも大きく影響する分野ですので、引き続きしっかりと取り組み願います。</li> <li>・保育所の待機児童数が0になったものの、出産数、婚姻数が減少している。少しでもプラスの力が働くようになってほしい。</li> <li>・アンケートを指標とするなら「佐野市が子育てしやすい環境かどうか」を聞く必要があるのではないかと。 / ・「楽しい」や「不安な気持ち」の割合を指標化するのはかなりあいまいな要因が大きい。</li> <li>・目標の数値を確保することが、コロナ禍で難しい。コロナ禍の影響が強みられる(特に婚姻や出産)が、子育て女性活躍の面では成果を生んでいる。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響による移動制限(すこもりの)のマイナス効果が反映されていると懸念する。</li> <li>・子育てに不安を感じる割合が10ポイントも増加している。コロナの広がりによる不安も一因と思うが、至急、不安を取り除く施策を検討すべきと感じた。</li> <li>・コロナ禍の影響で指標の悪化がみられる。 / ・負担や不安の内容を取り込み、施策につなげてほしい。 / ・育児休業については企業向けにも啓発してほしい。</li> <li>・待機児童「0」は達成できてよかったと思う。ぜひ今後も続けてほしい。 / ・待機児童0は素晴らしい。</li> <li>・具体的施策や指標項目に①子どもを何人欲しいか(アンケートに追加)、②子供にお金がかかりすぎると思うか(アンケートに追加)、③学校給食の無料化、④保育園児2人目から無料化を提案</li> <li>・ジェンダーレスの取り組みも社会的な動きとなっている。</li> <li>・個人のライフスタイルに係ることなので難しいと思うが、ダイバーシティの考え方を含め、文言にも注意が必要だと思うし、施策のすすめ方により注意を払う必要があると思う。</li> <li>・女性が「子育てするなら佐野市だよ」と思う政策を実行しないと。まちが活性化していかないと人口減少が止まらない。</li> <li>・婚姻数、出生数ともに低いと思う。夫婦で移住してくる方々を含め、若者から高齢者まで住みやすい街づくりをしてほしい。</li> </ul>										

※達成状況 ◎:R2年度の達成状況が100%以上 ○:R2年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R2年度の達成状況が50%未満

基本目標	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)
					実績値						
時代にあつた地域をつくり、安心な暮らしを守る	これからも佐野市に住み続けたいと思う市民の割合(%) ※市政アンケートより		77.8 (H30年度)		80.3				90.0		
	具体的施策	KPI(重要成果指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終年目標値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
	コンパクト・プラス・ネットワーク(いもフライ型都市構造)の推進	生活路線バス利用者数 (年間延べ利用者数) (交通生活課調べ)	142,323 (H30度)	145,158	87,239	147,993	150,828	153,663	156,500	○	60.1
		中心市街地における人口割合 (中心市街地の人口/総人口) (都市計画課調べ)	6.12	6.13	6.04	6.14	6.16	6.18	6.20	○	98.5
	地域とともに誰もがいきいきと活動できる環境づくり	市民活動に参加したことのある市民の割合(%) ※市政アンケートより	59.9 (H30年度)	64.0	64.6	68.0	69.0	70.0	70.0	◎	100.9
	国土強靱化の推進	国土強靱化地域計画における成果指標の達成率	-	70.0	20.0	70.0	75.0	75.0	80	△	28.6
	まちづくり連携体制の推進	連携協定締結数	9	12	10	15	18	19	20	○	83.3
連携事業等による事業本数		-	2	1	3	5	6	8	○	50.0	
持続可能なまちづくりの推進	総合計画においてSDGsの基本目標を位置付けた数	0	0	0	15	15	15	15	○	-	
	経常収支比率	87.1 (H30年度決算)	90%以下	89.5	90%以下	90%以下	90%以下	90%以下	◎	100.6	
懇談会 委員評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合							評価 委員数	1  14
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合								
	□ 地方創生に効果があった		例: KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合								
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合								
主な 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成にばらつきはあるが、取り組み自体は着実に進展していると思われる。 / ・佐野市の魅力づくりを強力に進めてもらいたい。</li> <li>・市民活動の参加や市の経常収支比率が良いということで、その他についてはこれからの努力目標ということだと思う。 / ・この基本目標に関する施策は市民の声を取り入れ実行するとよいと思う。</li> <li>・令和2年度未実施の事業も多く、十分な成果につながっていないものの、まちづくり、防災、教育面では成果が認められる。 / ・コロナ禍の影響が大きいと思料します。</li> <li>・コロナ禍の中で厳しい状況であったと思うが、地道に取り組んでいるという印象である。 / ・実績値はイレギュラーと考え、取組としては前進していると判断する。今後に期待します。</li> <li>・コロナ禍により推進しづらい項目であったと思う。状況が変われば改善されると思うので、引き続き、事業改善し、進めて欲しい。</li> <li>・思った以上にバスの利用が増えないのはなぜか。コンパクトシティに向けて必要な市民の足。そもそもニーズがないのか、ニーズがあるが路線等設定方法に問題があるのか検証してはどうか。</li> <li>・SDGsを取り入れた施策17項目をまちぐるみで実行していく必要性を感じているので、達成するために、プロジェクトの立ち上げが必要かと思います。急務と思う。</li> <li>・SDGsについては、ほとんどの施策が何らかのかかりを持っており、基本目標に位置付けることはそう難しいことではないのではないかと思います。</li> <li>・国土強靱化の推進の令和2年度の実績値について、令和元年東日本台風の教訓を織り込み、スタートが半年後ろ倒しになったためと理解した。それであれば△は厳しすぎるのではないかと。</li> <li>・台風、コロナと続き、達成が厳しかったことが分かる。</li> <li>・戦略4目標とそれらの施策は相互に関連したり連携することで効果的になると思いますので、個別の施策のみにとらわれずに、施策相互の連携が図られるように上手に「舵取り」を進めてください。</li> <li>・ほかの事例はあくまで参考であって先進ではありません。佐野市は先行するものが多いので、結果で示せるように頑張ってください。</li> </ul>										